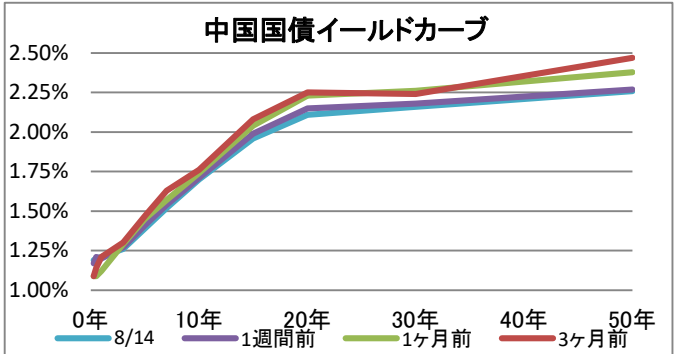
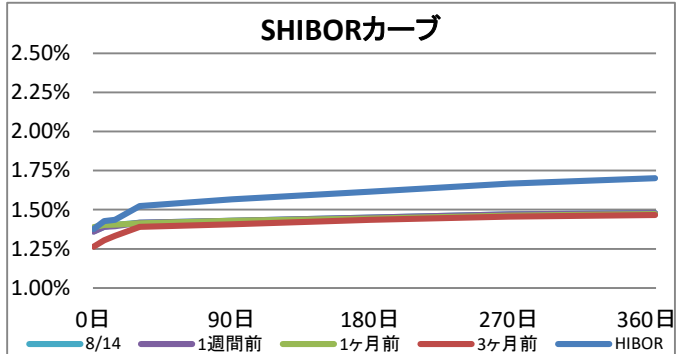


1. 市場概況

基準レート		2026/8/14	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7878	-0.0026
	JPY/CNY	4.2454	-0.0337
SHIBOR	3M	1.4300%	+0.0000%
国債利回り	10年	1.70%	-0.01%
上海総合指数		3,927.18	-12.86



(1) 概況

国際金融市場は、中東情勢の改善が見通せず、原油価格が上昇を続ける状況となる中、物価を含む米国の経済指標が軟調な内容となったものの、債券市場は上値重く下落（利回り上昇）に転じ、株式市場も最高値圏で伸び悩み、外為市場ではドルがやや軟調となる小幅な値動きに終始し、金は買い戻しが一服し、ビットコインは下落に転じた。

中国金融市場では、材料難の中、中国人民銀行が貨幣政策執行報告において金融緩和方針を示したものの、株式市場は小幅下落、債券市場は小幅上昇（利回り低下）と、ともに小幅な値動きに終始し、外為市場もドルがやや軟調となる中、中国人民銀行のドル安による元高抑制姿勢も継続されており、1ドル＝6.74台半ばでの極めて小幅な値動きに終始。

中国では、中国人民銀行が「同行・第十五次五カ年計画」を公表し、科学的・安定的な金融政策システムと金融分野全体を包括するマクロブロードな管理体系の構築のほか、オフショア人民元市場の発展推進や上海国際金融センター建設加速、香港国際金融センターの地位強化・向上を含む高水準の対外開放を推進する方針を掲げ、国家外貨管理局と「多国籍企業本外貨越境資金集中運営に関する事項についての通知」により、本年9月14日からの多国籍企業の資金プール運営でのネットティング等による効率化支援を拡充し、本年第3四半期の金融政策執行報告では、適度に緩和的な金融政策の継続実施のほか、実務的で有効な追加政策を適時打ち出す方針を示し、短期金利の調整メカニズム改善として、翌日物リバースレポの頻度を増やす方針を打ち出した。また、同行は、ドイツ銀行をフランクフルトにおける人民元清算銀行として認可し、同行・北京市支店は、郵貯銀行・北京支店が北京市初となるマカオ特別行政区向けmBridge（多国間CBDC-Bridge）による越境取引に成功したと公表。財政部・廖岷副部長は、本年初のBRICS財相・中銀総裁会議に出席し、中国がより公正で合理的な世界経済ガバナンス体制構築を支援し、発展途上国の代表権・発言権の向上を図る方針を示した。なお、国家金融監督管理総局・李雲沢前総局長は、「重大な規律・法律違反」を理由に全人代の代表資格を剥奪された。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日1,165億元、アウトライトリバースオペ期日10,000億元に対して、リバースオペ180億元、アウトライトリバースオペ（6M）10,000億元、翌日物リバースオペ3,490億元を実施し、2,505元を供給。

(3) 主な経済指標

特になし。

2. 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.3630%	1.3600%	1.3626%	
1W	1.3900%	1.3900%	1.3966%	1.3900%
2W	1.4037%	1.4800%	1.4286%	1.3900%
1M	1.4162%	1.5300%	1.4300%	1.3900%
3M	1.4300%	1.5500%	1.4600%	1.4300%
6M	1.4500%			1.4600%
9M	1.4700%	1.4900%		1.4800%
12M	1.4800%			1.4800%

中国人民銀行は、資金余剰の状況に対し、日々の1週間物のオペによる資金供給を止め、納税に伴う資金需要に対し翌日物オペで効率的に対応。ターム物は、引き続き1カ月が1.4%台半ばで出合っている。

NCD市場の金利水準も、前週末の水準から概ね変化なく、ターム物の金利水準は1カ月から5カ月（12月末）までが1.4%台前半、6カ月が1.45%前後、1年は1.4%台後半で取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	3.68%	3.69%
1W	3.73%	3.75%
1M	3.85%	3.90%
3M	3.85%	3.95%
6M	4.10%	4.20%
12M	4.20%	4.30%

中国国内市場では、利上げ観測後退後も出し手が限定的な状況に変わりなく、需給は一段とタイトとなっており、ターム物は1カ月が3.8%台後半、3カ月が3.9%前後で出合っている。

3.人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.19%		1.39%	1.47%	1.51%
6M	1.20%		1.45%	1.50%	1.54%
1Y	1.21%	1.26%	1.48%	1.52%	1.57%
3Y	1.26%	1.35%	1.54%	1.62%	1.75%
5Y	1.39%	1.49%	1.61%	1.72%	1.90%
10Y	1.70%	1.77%	1.95%	2.05%	2.50%

米国債券市場は、前週末の雇用統計による早期利上げ観測の後退による買いは長続きせず、中東情勢の先行き不透明感からの原油価格上昇への懸念が上値を重くする中、インフレ指標が予想を下回ると買い戻しも見られたものの、個人消費の悪化を示す指標への反応も限定的で下落に転じ、利回りは前週末比上昇して週末を迎えている。

中国債券市場は、材料難となる中で中国人民銀行の貨幣政策執行報告での適度な金融緩和や必要に応じた追加措置実施に関する方針の確認により底堅いものの、小幅な値動きに終始。イーロードカーブは、低下余地が限定的となる中、小幅な下方シフトによるフラットニングも継続し、クレジットスプレッドも信用債の利回り低下幅が大きく小幅縮小。

この結果、10年米国国債利回りは4.69%（前週末比+4p）へと上昇に転じる一方、10年中国国債利回りは1.70%（同-1bp）に低下したことから、利回り差は299bp（同+5bp）に拡大。

4.先物為替市場

	USD / CNY
1M	-144.0 / -142.0
3M	-435.0 / -432.0
6M	-883.0 / -880.0
9M	-1,822.0 / -1,318.0
12M	-1,779.0 / -1,776.0

対ドル基準レートは6.7878と前週末比-26pipsのドル安元高、対円基準レートは4.2454と同-337pipsの円安元高と、対ドル基準レートは、2023年2月以来の元高水準ではあるものの、市場実勢比ではやや大幅な元安水準での設定を続けて、市場でのドル安による元高を牽制。

中国国内市場では、米利上げ観測の後退によりドルが軟調に推移する中、米イランの停戦協議不透明化もドルの支援材料とはならず、米インフレ指標も市場予想を下回ったことから、先週末の1ドル=6.75から6.74台へ緩やかに元高が進行して週末を迎えた。

先物は、FRBの早期利上げ観測の後退により金利差は縮小傾向となったものの、ドル金利の低下幅は限定的となっており、先物のドル買い需要もあって、ディスカウント幅の縮小も限定的となっており、1年物は先週末の-1,800前後から-1,700台後半に小幅に縮小している。

5.金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.44%		1.43%
6M	1.43%	1.46%	1.43%
9M	1.43%	1.46%	1.41%
1Y	1.42%	1.46%	1.42%
3Y	1.43%	1.47%	1.46%
5Y	1.49%	1.54%	
7Y	1.54%	1.61%	
10Y	1.60%	1.68%	

金利スワップ市場は、債券市場が材料難から小幅な値動きが続いていることもあり、スワップレートも概ね前週末の水準での小幅な値動きとなり、スワップスプレッドも概ね変化なかった。

6.その他（週末に公表された経済指標等）

・イラン高官から、米国との交渉再開の決定はなく、ホルムズ海峡の開閉はイランの支配下にある旨の発言があり、トランプ大統領は米国民に当面のガソリン価格の上昇の受け入れを呼びかけた、と報道。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入